

新世界アーツパーク未来計画 シンポジウム

>> 新世界アーツパーク(=SAP)に参画している4NPOの共同主催によるシンポジウム「新世界アーツパーク未来計画」が6/23に開催されました。SAP事業を含む、大阪市の芸術振興事業プラン「芸術文化アクションプラン」の10年計画の内、前期5年が終了する今年度、4NPO自らが、自分たちの活動を省みるために行なわれたのが、このシンポジウムです。

「第一回 新世界アーツパーク未来計画シンポジウム」
開催日時:2005/6/23 15:30~19:00
開催場所:Art Theater dB

ゲストスピーカー:
小暮宣雄(芸術環境研究者)
佐々木雅幸(大阪市立大学大学院創造都市研究科長・教授)
吉本光宏(ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室 室長)
鷺田清一(大阪大学教授(哲学))

ナビゲーター:
甲斐賢治
(NPO法人remo / 記録と表現とメディアのための組織)

参加者:110名

トーカー:
雨森信(NPO法人remo / 記録と表現とメディアのための組織)
上田假奈代(NPO法人cocoroom / こえとことばとこころの部屋
(*第三部は、飯島秀司)
大谷煥(NPO法人ダンスボックス)
西川文章(NPO法人ビヨンドイノセンス)

主催:新世界アーツパーク未来計画実行委員会
NPO法人remo / 記録と表現とメディアのための組織
NPO法人cocoroom / こえとことばとこころの部屋
NPO法人ダンスボックス
NPO法人ビヨンドイノセンス

■ 新世界アーツパーク未来計画 開催主旨

平成14年10月、大阪市による地域文化活性的ための政策「芸術文化アクションプラン」の一環としてオープンした「新世界アーツパーク事業」。現在、分野が異なる4つの専門的NPOが「公設民営」方式によって、大阪には未整備の「アートセンター」の拠点を運営、通年活動し、その他ふたつの団体も交えて様々な展開を繰り返しています。

当時、日本の文化の領域ではまだほとんど事例がなかったその「公設民営」という方式で進められるこの事業には、地方主権の時勢も合わさって、各地方自治体が文化政策を計画、実施する上の参照として、オープン当初より全国からの視察が訪れており、現在ではその成功事例として広く認識されています。

そのような中、本年5月に入って、担当部署である大阪市・ゆとりとみどり局文化集客部文化振興課より、現在、フェスティバルゲートの運営管理に関する先行きが不安定な情勢で、この場での継続の可能性を探ると共に、新たな移転場所での事業展開を考えたい。との投げかけがありました。

これを機会に、3年の活動を経た4NPO自らが、これまでの活動を顧みつつ、

1) 地域に貢献する「拠点事業」における事例と検証、今後の方向性

2) 公的な「文化事業」のあり方を考え、市民に還元するための方法論をさぐる
3) 都市機能として芸術文化における先進的な取り組みの海外・国内の事例紹介、本取り組みの検証、社会的便益、今後の課題・指針について
4) 継続的に市民に開かれた場を維持する意味を考え、具体的な開かれた場作りのつくりかたなど

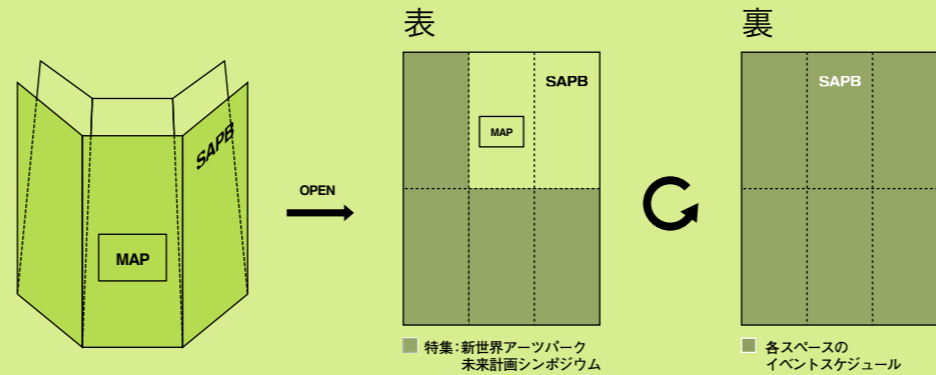
を話し合い、未来に向けた具体的な歩みを考えたいと思っています。

そこで、本来的にパートナーである担当部局、客観的批評を行う有識者を招き、今後の方向性を考えるオープンな機会を持ちたいと考えました。

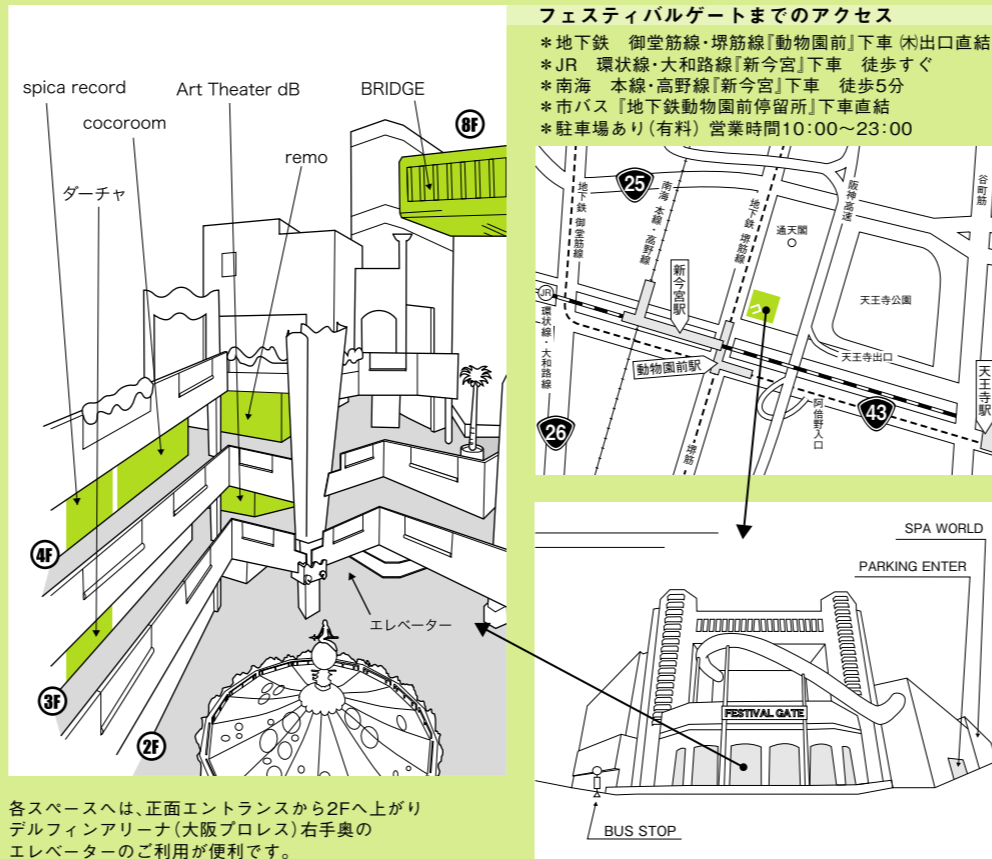
つきましては、大阪のよりよい芸術環境への礎となる可能性を有する本シンポジウムへの参加を心よりお待ちしております。

新世界アーツパーク未来計画実行委員会
NPO法人 記録と表現とメディアのための組織
NPO法人 こえとことばとこころの部屋
NPO法人 ダンスボックス
NPO法人 ビヨンドイノセンス

Index



Access for SAP



各スペースへは、正面エントランスから2Fへ上がりデルフィンアリーナ(大阪プロレス)右手奥のエレベーターのご利用が便利です。

新世界アーツパーク事業について

大阪市では、市民が真に誇れる文化都市をめざすため、将来を担う若い人材のサポートや未だ評価の定まらない実験的な活動の支援を着実に進めていくことが必要であると考えています。

そこで、これまでの文化施設概念に捕われぬ、機動的で専門的な芸術拠点として、フェスティバルゲートのスペースを活用し「新世界アーツパーク事業」を展開しております。

この事業は各ジャンルの専門家NPO(特定非営利活動法人)を設立し、公演・ワークショップ・文化交流など、多様でレベルの高い事業を継続的に展開するとともに、「大阪現代芸術祭」の一環として、大阪市主催による特定のプロジェクトを計画的に推進し、行政と民間が協力して先進的な芸術拠点づくりに取り組みます。

大阪市主催事業に関するお問合せ
新世界アーツパーク事業事務局
tel. 06-6646-0234
e-mail info@sap-s.jp
URL http://www.sap-s.jp
営業時間 11:00~18:00(水曜日定休)

SAP-B [Shinsekai Arts Park-Bulletin] vol.14
新世界アーツパーク通信 第14号

○ この「SAP-B(新世界アーツパーク通信)」は、新世界アーツパークで行われる催しを紹介するフリーペーパーとして、奇数月20日に発行しております。
○ 情報は7/10現在のものです。都合により変更となる場合もありますので、各お問合せ先にてご確認ください。

発行日:2005年7月20日
発行:大阪市ゆとりとみどり振興局文化集客部文化振興課 / 財団法人大阪都市協会 / 新世界アーツパーク事業事務局
編集:新世界アーツパーク事業事務局 / 〒556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート内
デザイン:イトウユウヤ+Q.E. 印刷:(株)坂井印刷所
ホームページ: http://www.sap-s.jp/
お問合せ・ご提案等:新世界アーツパーク事業事務局 tel. 06-6646-0234 fax. 06-6646-0235 e-mail info@sap-s.jp

編集後記 >>BRIDGEに即興演奏の先駆者たちの来日が相次ぎます。オリジネーターならではの音を体験できる機会をぜひお見逃しなく!(女) / ココロがざわざわします。今はただ、できるだけ良い方向を目指すのみです。(Q.E.) / 僕が出来ることはいったい何なのか…。雨に濡れながら考える日々が続きます。梅雨。(イ)

SAPB

2005 8+9
vol.14

SAP-Independent Spaces

BRIDGE

8F-801
NPO Beyond Innocence

cocoroom

4F-409
NPO cocoroom

remo

4F-410
NPO record,expression and medium organization

Art Theater dB

3F-318
NPO DANCE BOX

SAP-Material Rooms

spica record

4F-408

Дача

3F-316

